

令和7年(2025年)9月19日

北鳳丸 指導教官 小樽水産高校 靱山

【令和7年度秋季浮魚調査実習(北鳳丸)実習経過報告】

小樽水産高校専攻科漁業科 1 学年10名は、函館水産高校専攻科機関科1学年5名とともに9月1日(月)に函館港にて乗船開始し、4日(木)14:00 予定通り出港をしました。翌日5日(金)より浮魚調査を開始し、低気圧接近に伴う荒天回避のため、予定を一部変更はしているものの、現在は予定していた調査海域での実習に励んでおります。

本航海では、北西太平洋および北海道・東北太平洋沿岸における浮魚資源量調査のためのトロール網による操業や様々な海洋観測が連日行われる予定であり、専攻科生徒は、通常の当直任務以外に、これら操業および観測も行っています。

現在、北緯 49度00分、東経174度 00 分付近を航行、気温が約12 度と、すっかりと寒くなりました。防寒をし作業をしている生徒もあり、秋というより冬の気配すら感じます。

また、10 月に受験予定である海技士試験のための学習、また、海技士口述試験対策、次航海でのプロジェクト学習発表会(課題研究)など様々な学習課題が多くあります。計画的に進めさせ、一人ひとりの目標実現へ向けたサポートができればと思っています。

今後も体調管理、けが事故防止を徹底させ、実習に励んで参ります。ここで少しでも専攻科漁業科の生活の様子をご紹介します。以下に専攻科漁業科の1日の流れや、現在の作業内容を簡単にお見せいたします。

【生徒のとある1日】※生徒によって当直や作業の時間帯が異なります。当直開始時間等も毎日異なります。(例)当直:0時～3時、18時～21時の時

